

(様式2)

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	根ヶ山 光一 (ねがやまこういち)	所 属	早稲田大学人間科学学術院
研究集会等名称	社団法人日本心理学会 食発達研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 会員 8 名, 非会員 15 名 (うち認定心理士 1 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>今年度は、以下の通り「食発達研究会」として 6 回の集会をもち、情報交換を行うとともに、日本心理学会大会においてシンポジウムを開催した。</p> <p><u>1 回目集会</u>: 日時 2009 年 5 月 9 日 (土曜日) 15 時~18 時 (場所: 早稲田大学) 演者: 和田有史先生 ((独行)農研機構食品総合研究所) 演題: The other side of human food perception</p> <p><u>2 回目集会</u>: 日時 2009 年 6 月 27 日 (土曜日) 15 時~18 時 (場所: 早稲田大学) 演者: 野村明洋先生 (東村山第八保育園園長)・外山紀子先生 (津田塾大学) 演題: 食農保育の実践と、作物の成長過程に関する幼児の生物学的理解</p> <p><u>3 回目集会</u>: 日時: 2009 年 8 月 1 日 (土) 15 時~18 時 (場所: 早稲田大学) テーマ: 小・中学生の精神的健康状態と食・生活習慣、健康意識との関連について 演者: 則松宏子先生(Toulouse 第二大学) 演題: 授乳行動および乳幼児の摂食行動の発達に関する国際比較研究</p> <p><u>4 回目集会</u>: 日時: 2009 年 10 月 17 日 (土曜日) 15 時~18 時 (場所: 早稲田大学) 演者: 今田純雄先生 (広島修道大学) 演題: 「食の心理学と Paul Rozin」 「食の不易流行: 変わるものと変わらぬもの」</p> <p><u>5 回目集会</u>: 日時: 2009 年 12 月 26 日 (土曜日) 15 時~18 時 (場所: 早稲田大学) 演者: 榊原洋一先生 (お茶の水女子大学) 演題: 飽食時代の「見えない」栄養障害</p> <p><u>6 回目集会</u>: 日時: 2010 年 2 月 20 日 (土曜日) 15 時~18 時 (場所: 共立女子大学) 演者: 川田 学先生 (香川大学) 演題: 食を通してみる乳児期の自他関係の発達</p> <p><u>日本心理学会におけるシンポジウム</u>: 2009 年 8 月 26 日 9 時 30 分~11 時 30 分 話題提供者: 外山紀子 (津田塾大学)、今田純雄 (広島修道大学)、根ヶ山光一 (早稲田大学) テーマ: 食の文化的多様性</p> <p>今後はこれらを継続して行うとともに、本の出版を目指して活動する予定である。</p>		